

漢文句法② 可能【解答】

※書き下し文・口語訳では、会話終わりの「〜と」は省略

1 有^リ能^ク為^ス鶏^ニ鳴^ヲ者^一上。

書き下し文 能く鶏鳴を為す者有り。
口語訳 鶏の鳴きまねができる者がいた。

2 吾^ク能^ル料^モ生^ヲ、

(書) 吾能く生を料るも
(訳) 私は生きている人間のすることは推測で
きるが

3 能^ク復^タ飲^ム乎^ト。

(書) 能く復た飲むか。
(訳) もう一杯酒を飲むことができるか。

4 能^ク久^シ乎^ト。

(書) 能く久しからんや。
(訳) 長生きできるだろうか、いやできない。

5 得^{タリ}見^ル亮^ヲ。

(書) 亮を見るを得たり。
(訳) 亮に会うことができた。

6 可^{シト}レ教^フ。

(書) 教ふべし。
(訳) 教えることができる。

7 可^{シト}レ謂^フ孝^ト矣^ト。

(書) 孝と謂ふべし。
(訳) 孝行と言うことができる。

8 可^{シト}ニ以^テ解^ク渴^ヲ。

(書) 以て渴を解くべし。
(訳) のどの渴きをいやすことができる。

9 可^{シト}ニ以^テ為^ル師^ト矣^ト。

(書) 以て師と為るべし。
(訳) 師となることができる。

11 可^シ三^ニ以^テ濯^フ吾^ガ纓^ヲ。…可^シ三^ニ以^テ

濯^フ吾^ガ足^ヲ。

(書) 以て吾が纓を濯ふべし。…以て吾が足を
濯ふべし。

(訳) 私の冠の飾りひもを洗うことができる。
…私の足を洗うことができる。

12 可^クニ以^テ為^ス網^ヲ…可^クニ以^テ為^ス綸^ヲ、

(書) 以て網を為すべく…以て綸を為すべく
(訳) 網で捕えることができ…泳ぐものは釣り
糸で釣ることができる、

13 可^シニ以^テ救^フ禍^ヲ。

(書) 以て禍を救ふべし。
(訳) わざわいを救うことができる。

